

中3国語 出題のねらいと対策

1 説明的文章読解 68.0%

ねらい：説明的文章に書かれている内容をしっかりと読み取り，記述で解答する力を問う。

分析と対策：この文章では，人間関係において，完全な理解ができないということを知覚して，相手の心に近づこうと努力すること，また，多様性を認め，自分自身の心にも，多様な自分を並存することの大切さを述べています。接続語の働きや，指示語の指示内容など，基本的な読解の技法が身についているかを確認してください。どれも小学校で習う漢字です。小学校で習う漢字については，読み取りだけでなく，確実に書けるようにしておきましょう。

選択肢の一つ一つの接続語の働きがきちんと頭に入っているかどうかをまず確認して，それを押さえた上で，二つの空欄の前後の文脈を検証しましょう。「近似的」の意味を正しくとらえましょう。完全な理解は不可能なことではあるが，少しでも完全な理解に近づこうと努力する姿勢が大切だとする筆者の考えを読み取ります。対義語の問題です。「複雑 単純」など，主な対義語の組み合わせについては，一通り復習しておきましょう。指示語の指示内容をとらえる問題です。この前の部分の文脈を丁寧に追いましょう。

2 文学的文章読解 60.0%

ねらい：人物の立場や，心情・行動の背景にある状況などの読み取りがしっかりとできているかを問う。また，まとまりのある内容を自

分のことばで記述する力を問う。

分析と対策：聖書の内容が物語風に描かれ，それについての「ぼく」の思い・考えが述べられています。人間の弱さを感じている「ぼく」の思いをとらえましょう。文章全体の構成をとらえる問題です。書かれていることについて，具体的な事実なのか，筆者の意見なのかを常に意識しながら読むようにしましょう。記述問題では，まず下書きをしてから，それをまとめる形で解答欄に清書するように心がけてください。「ない」を判別する文法問題です。助動詞の「ない」は，「間違わぬ」「理解し得ぬ」と「ぬ」に置き換えられることを覚えておきましょう。

3 古文読解 65.0%

ねらい：古文の読解に必要な基本的な知識がしっかりと身に付いているかどうかを問う。

分析と対策：この文章では，土地を巡って争う兄弟に，人としての道を説く太守の姿が描かれています。仮名遣いについての知識や，主語の把握など，古文読解の基礎が身に付いているかを確認してください。古文の会話文の直後には，引用を示す助詞「と」が付くことが多いことを覚えておきましょう。

仮名遣いについての知識として，「はひふへほ わいうえお」以外の原則についても，一通りおさらいしておくといよいでしょう。

全体の平均点は64.9点です。大問別テーマのうしろの数字は，全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら，不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。